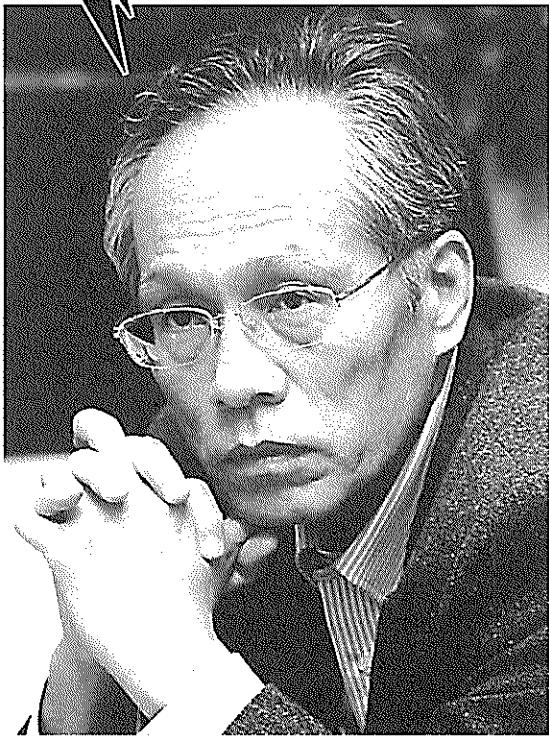


この秋 佐高信は 超辛口で北海道を 行脚(あんぎや)する!



プロフィール

1945年山形県酒田市生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。高校教師、経済雑誌編集長を経て評論家に。「社畜」という言葉で日本の企業社会の病理を露わにし、会社、経営批評で一つの分野を築く。更に、憲法・教育・文学など広い視野から評論活動を展開中。著書に「日本国憲法の逆襲」「田原總一朗よ驕るながれ」「福沢諭吉伝説」「魯迅烈説」「戦争と日本人」「罪深き新自由主義」など多数。近著に「抨啓藤沢周平様」「原発文化人50人斬り」など。現在「週刊金曜日」編集委員。同誌に「抵抗人名録」を連載中。

フクシマの惨事はまさに人災である。ならば誰がそれを招いたのか? 政・官・財の権力にとりこまれた「原子力村」。それを支えた大手メディア、嘘付き御用学者、エセ文化人。それらを名指しで批判することなくしてどうしてこの日本の不幸を希望につなげることなど出来ようか? 辛口評論家は今、渾身の怒りをこめて告発する!

「原発安全神話は 誰がつくったのか?」

さ たか まこと
佐高 信講演会



いずれの会場でも著書及び週刊金曜日などの販売とサイン会を行います。どうぞ沢山の方々の御来場をお待ちしております!

毎日新聞社
あとがきより
「原発文化人50人斬り」
佐高 信

二〇一五・三〇
幸田を降板させ、弘兼憲史や幸田真音などは格段に違うなと思うゆえんである。

原発文化人や原発戦犯を糾弾してきて思うのは、ねらわれた可能性があるのに、そうならなかつた人がいるということである。たとえば元プロ野球選手の張本勲である。ヒロシマで被爆した張本はもちろん、こうした人はドラマから降ろされ、それでもめげずにデモにも加わったちはやはり譲れぬ一線をもつてているのだろう。ノーテンキな弘兼憲史や幸田真音などとは格段に違うなと思うゆえんである。

◆講演会は3会場とも同じ演題で行われます。入場料 各会場 500円※前売・当日共

日 時	会 場	問合せ先
2011年 11月1日(火) 午後6時半(開場30分前)	名寄市総合福祉センター (名寄市西1南12) TEL 01654-3-9862	TEL 01654-2-1168 名寄地区平和運動フォーラム 090-9088-1183 090-3399-8007 熊谷 竹中
2011年 11月2日(水) 午後6時 (開場30分前)	室蘭市民会館 (輪西町2-5-1) TEL 0143-44-1113 [チケット扱い] ぶらっとついち ぐりんびーす・お米のますおか他	TEL /FAX 0143-27-1181 高橋 後援/室蘭市教育委員会 北海道新聞室蘭支社・室蘭民報社 週刊金曜日室蘭読者会
2011年 11月3日(木・祝) 午後1時半(開場30分前)	北海道教育会館 ホテルユニオン7F大雪 (札幌市中央区南3西12) TEL 011-561-6161	TEL 011-709-6212 FAX 011-708-0669